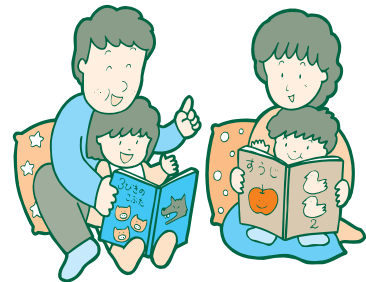


1. 誕生から乳幼児期におけるポイント

○ 子どもたちの、親に対する絶対的とも言える「安心感・信頼感」を育む

- ① 抱きしめて、何もかも包みこんであげること。
- ② 好奇心や関心が芽生える時期に、気のすむまで遊び、一つのことに熱中する楽しさを十分に味わわせること。
- ③ 自然の中で過ごす心地よさを感じながら、「楽しいなあ、不思議だなあ」と感じられるような時間を、親子で共に経験すること。
- ④ 親・家族が支え合う（母親だけ、父親だけがずっと世話をするというにならないようにする）こと。
- ⑤ 子育てで困ったり悩んだりしたときに、相談できる・一息つけるための人・場所・機関を見つけておくこと。
- ⑥ 地域や行政は、親や家族をサポートする取組み（相談を受ける・アドバイスをする・託児ができる体制を充実するなど）をさらに進めること。



2. 乳幼児期から小学校にかけてのポイント

○ 「善悪の判断、基本的な生活習慣」を しっかりと身に付けさせる

- ① 食べる・寝る・服を着る脱ぐ・清潔にする・排泄するという、人間が生きていく上でもっとも基本となる生活習慣を身に付けさせること。
- ② 「自分でやってみたい」という思いを大事にして、「できたね、よかったね。」と言われる体験（成功体験）ができるようにすること。
- ③ 危険なことや、人に迷惑をかけることなどについては、「やってはいけない、だめだ」と、きちんと目を見て厳しく教えること。
- ④ 「はい」「いいえ」という返事や、「おはようございます」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」などの挨拶をすること、目上の人などに対して礼儀正しい言葉や態度で接するようきちんと教えること。
- ⑤ 体をいっぱいに使った遊びを通して、走る・投げる・跳ぶ・転ぶ・登るなどの、柔軟な動きや身のこなしを身に付けられるようにすること。

